

今市文化会館における今市地域住民の意見の把握について

1 経緯

第1回日光市文化会館等あり方検討市民委員会から以下のような意見がありました。

日光及び藤原地域については、検討専門部会を設置し、各地域の会館施設のあり方について協議してきたが、今市地域ではそれがなされていない。

今市地域住民の意見も確認した上で全体を協議していくべきなのではないか。

また、文化会館は市民の関心も高く、意見を聞く場は必要ではないか。

2 今市地域において進捗がなかった理由について

新たな文化会館施設整備のあり方については、廃止の対象となっていない今市文化会館の使用を継続することによって、平成30年度中に市役所庁内の方向性を示した上で今後の進め方について検討していく予定でした。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化や会議中止に伴い検討及び調整に遅れが出てしまっています。

3 今市地域における検討専門部会の考え方について

以下の理由により、部会を設置することなく「日光市文化会館等あり方検討市民委員会」の中で、今市文化会館の今後を含めて協議をしていきたいと考えています。

【理由】

- ・今市文化会館の老朽化が著しいことから、早急に方向性を定める必要があること。
- ・今市文化会館が、日光・藤原の代替施設として使用していることから、市全体の文化会館の方向性を定めることが、今市文化会館の検討と同等であると考えられること。
- ・当該委員会は、委員の約3分の2が今市地域在住者で構成されていることから、今市地域の意見をお伺いする体制が整っていると考えられること。



しかしながら…

今市地域の市民も含め、
広く市民の方や利用者の方の意見を把握することが不可欠

4 意見の把握方法について

以下の方法により、広く市民の意見の把握していく。

【市民意見の把握方法】

- ・市ホームページ及び組回覧で市民委員会の進捗を発信
➡それに対する意見を、幅広く募集し把握

【利用者意見の把握方法】

- ・利用者アンケートの実施 ➡利用者ニーズの把握
- ・施設管理者への意見聴取及び施設管理者に対する利用者意見の把握